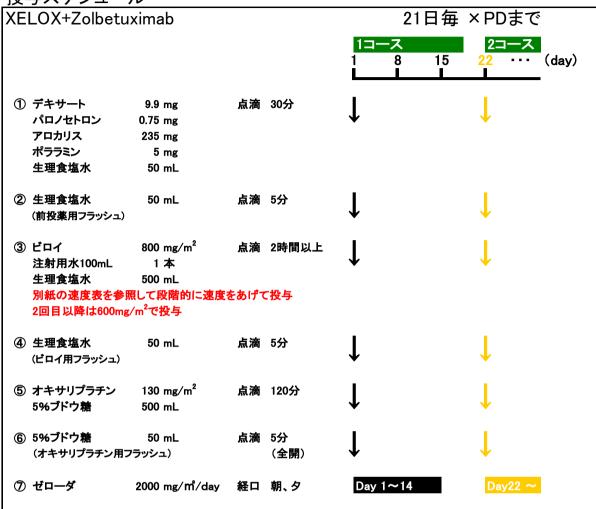
登録日 2025/4/8 腫瘍名 胃がん 登録番号 Gas038 申請医師 消化器外科

## 投与スケジュール



## 注意事項

【適応】 CLDN18.2陽性かつHER2陰性の治癒切除不能な胃がん(原則、1次治療)

【投与延期、中止基準】適正使用ガイド参照

【調製上及び使用上の注意】

催吐高リスク

Day2~4までデカドロン8mg/dayを投与

ビロイ投与前日からオランザピン1回5mgを開始し、Day4まで投与する。糖尿病がある際、他の制吐剤に変更する。 (外来時は、Day1から投与でも可)

- ・ビロイは、別紙の"調製量と投与速度の一覧表"を参照して、投与量に応じた調製量や投与速度を実施する。
- ・ビロイ投与速度

800mg/m2: 投与開始から30~60分まで100mg/m2/時、その後、200~400mg/m2/時に変更可能。

- 600mg/m2: 投与開始から30~60分まで75mg/m2/時、その後、150~300mg/m2/時に変更可能。
- ・副作用対策として、投与速度の減速や中断または中止などの処置を行う。
- ・ビロイは、体表面積と投与量に応じて、溶解液の処方を変更可能とする。

## 参考文献

- 1) Nature Medicine, 29, 2133-2141 (2023).
- 2) 添付文書

(ビロイ2024年6月改訂版、オキサリプラチン2023年8月改訂版、ゼローダ2024年2月改訂版)